

福井県国際交流会館(1/2)

国際交流会館から世界が見える!

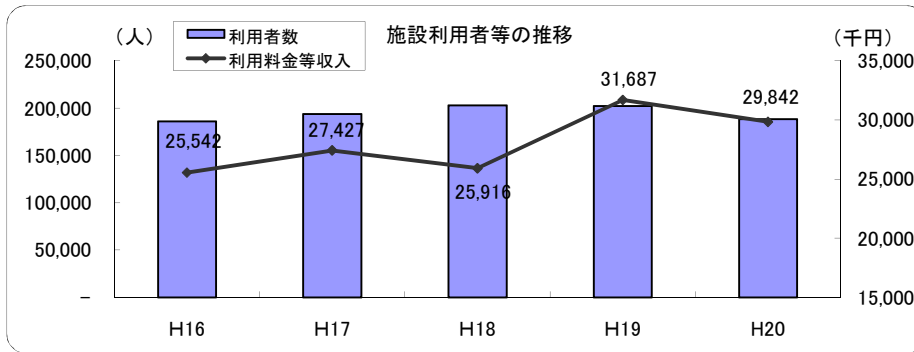
所在地	福井市宝永3丁目1-1		
設置年月日	平成8年10月5日		
施設の種類	貸館・貸室	施設管理主体	指定管理者(財)福井県国際交流協会
設置の目的	福井県における国際交流活動を促進し、世界に開かれた地域社会の実現を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	構造、面積:SRC、地上3階、地価1階 敷地面積4,453.19㎡、延床面積 6,449.90㎡ 主な機能:多目的ホール、旅券室、情報相談コーナー、会議室、研修室、特別会議室		
職員数	指定管理者(団体職員10人、アルバイト2人 計12人)		

利用状況等

	H16	H17	H18	H19	H20
利用者数(人)	186,056	193,724	202,732	202,311	188,392
情報相談コーナー利用者数(人)	60,592	62,438	60,124	48,120	48,094
貸施設稼働率(%)	42.5	60.9	59.5	64.6	65.1

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	会議室(午後)	6,800円
	特別会議室(午後)	29,200円
	多目的ホール(平日午後)	27,500円



利用状況の推移	<p>ほぼ毎年20万人前後の利用がありますが、20年度の利用者数は19年度から6.9ポイント減となり、三年ぶりに20万人割れとなりました。</p> <p>しかしながら、会議室の貸出状況の平均稼働率は65.1%と、19年度並みの水準を維持しています。</p> <p>また、情報相談コーナーの利用者数が二年連続で約48,000人台と平成18年度と比べ20%減少となりますが、これは、インターネットで情報を入手する人が増加していることや大学の留学生センター等におけるサポート体制が充実してきたことによるものと考えています。</p>
---------	--

施設の特徴

多目的ホールや特別会議室は、5カ国語同時通訳設備を備えており、本格的国際会議も開催できます。

また、和室・茶室では日本の文化・伝統に触れ、お茶会等にも利用されています。



【情報相談コーナー】

海外のさまざまな情報の提供、相談業務を行っています。



7,355冊の図書を配架
外国語新聞14紙、外国語雑誌34誌を常備

【外国語による外国文化紹介講座】

世界の文化や習慣、言語について理解を深めていただけるような各種講座を開催しています。



【常設日本語講座】

日本語指導者養成講座を開催し、ボランティアの要請にも力を入れています。

平成20年度の特徴について

事業実績	<p>平成18年度より指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上や施設の利用促進のための新たな取り組みを行っています。</p> <p>管理委託期間(平成21年3月までの3年間、指定管理料総額312,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館周辺の見所や食事場所の案内図を利用者に提供 ・県内の国際交流・協力活動を行う団体等への研修室・語学研修室の活用 ・職員の接客マナー研修の実施 ・アンケート内容の見直しと外国語版の作成 ・パンフや手引きを活用し、利用促進に向けた営業活動の実施 ・貸出予約の利便性向上(HPを活用した館内施設の紹介や空き状況の掲載) <p>【全体としての利用状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間国際交流団体への活動の場の提供件数 3,373件 ・在住外国人を対象とした無料法律相談会・行政書士相談会相談件数 69件 ・在住外国人を対象とした日本語講座申込件数 94件 ・外国語による文化紹介講座申込件数 102件 ・小中学生向け施設見学訪問受入数 12件
------	--

福井県国際交流会館(2/2)

行政コスト計算書(平成20年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	賞与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	104,000	49.3%	100.0%
	維持補修費	6,143	2.9%	97.0%
	減価償却費	100,932	47.8%	100.0%
	計	211,075	100.0%	99.9%
その他	支払利息	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計		211,075	100.0%	99.9%
収入	利用料等収入	0	0.0%	-
	一般財源	211,075	100.0%	99.9%

バランスシート(平成21年3月31日現在) (単位 千円)

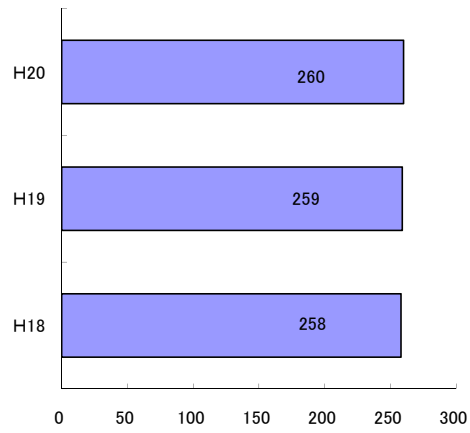
借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	5,444,791	98.2%	固定負債	0	-
うち土地	1,607,581	100.0%	うち起債残高	0	-
うち建物	3,774,096	97.4%			
うち美術品・備品	63,114	97.5%			
投資等	0	-	流動負債	0	-
流動資産	0	-	純資産	5,444,791	98.2%
計	5,444,791	98.2%	計	5,444,791	98.2%

主な指標 (単位: %、円/人)

	H20	H19	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	6,702	6,802	98.5%
県民1人あたり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	100.0	100.0	100.0%

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託しています。 一般財源ベースでは、前年比ほぼ同じで、県民1人あたりの県負担コストもほぼ前年と同じです。</p> <p>また、20年度は維持補修費は、ヒートポンプチャラーのオーバーホールや中央監視装置基盤や空調用自動制御コントローラー交換に6,143千円を要しました。修繕費を除いた一般財源ベースでは、前年比同額となっています。</p> <p>なお、建設時の起債償還が平成19年度で終わり、職員配置もないことから、将来負担につながる負債がありません。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>施設管理運営 【H21予算額:80百万円】</p> <p>国際化支援事業 【H21予算額:9百万円】 多言語情報紙、広報誌の発行、外国新聞・図書等の配備 ホームページ、携帯電話での多言語情報提供 外国人生活相談(カウンターでの一般相談、弁護士・司法書士による相談会) 日本語講座、日本語指導者養成講座、国際交流・協力のつどい、外国文化紹介講座等</p>
今後の課題	<p>貸施設の稼働率の数値目標60%に対して、20年度の実績は65.1%でした。今後もより一層のサービス向上に努めるとともに、新たな利用ニーズを掘り起こし、稼働率を伸ばしていく取組みが必要です。</p>
今後の事業方針取組み内容	<p>貸施設の稼働率は、目標の60%を上回るよう、より一層のサービス向上による稼働率の向上を目指し、次の取組みを行います。</p> <p>①施設、設備の特徴や使い方をわかりやすく掲載したパンフレット等を活用して、積極的な営業活動を行い、新たな需要の掘り起こしに努めます。</p> <p>②多言語によるアンケートを実施するなどして外国人も含め幅広いニーズを把握して応えていくように努めます。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)



人口千人あたりの国際交流会館利用者数比較 (H20)

